

はんざわ多美の

市政ウォッチング

笹田議員から学ぶこと

笹田トヨコ議員の活動

笹田議員は、もともとは看護師。子どもの発達相談員などを経て市議会議員になられ、今年で16年目を迎えられます。毎日、市民の生活相談や学習会、議会会議、市民への活動報告に追われています。お孫さんのお世話もある中でよくもこれだけの仕事をこなされるなあと思いま

平成30年6月

・市営住宅の退去時の負担 ・学童期の
子供たちの居場所 ・空き家を活用
した高齢者の居場所づくり

平成30年3月

・日本合成の土壌汚染

平成29年12月

・生活、福祉を支える地域交通 ・生
活困窮者自立支援法にもとづく「学習
支援事業」 ・県単位化のもとの国

す。

トヨ子さんのこの一年半の本会議一般質問の事項をみても、下記の通りです。

生活相談と社会的弱者の視点

本会議は、毎回登壇です。質問項目は複数にわたるときもあります。市民からの相談と学習をうけて、一般質問には力がはいります。社会的弱者の視点にこだわります。また、市の事業へ影響を与える国や県の政策の問題点を見据えながら、どのように大垣市として対応していくかに迫っていきます。たとえば、国民健康保険の高すぎる保険料の問題につい

民健康保険制度

平成29年9月

・県単位化のもとの国民健康保険制
度

平成29年6月

・大垣市における地域公共交通網形成
計画 ・超高齢社会に自立した在宅生
活を送るために

平成29年3月

・待機児童問題 ・介護保険制度

てです。国の医療・福祉の制度がからむので難しいテーマでほとんどの議員が取り上げませんが、自営業者や65歳以上の高齢者が加入する大切な制度です。その保険料額は市が設定します。すべての市民に医療をという国民健康保険の制度趣旨にたつて熱く質問をされました。

年間の質問を見渡してみると、医療や介護、保育園、そして環境(まちづくり)の問題、大切な論点を網羅していることに気づきます。

地道に謙虚にしなやかに

笹田議員は言います。「今すぐ実現にはならなくても、言い続けることで市民の声が議会と行政を動かす時がくるんですよ」と。いつもニコニコされていますが、要所要所で大切なことを教えてください。トヨ子さんの後を引き継げるように頑張ります。



はんざわ多美